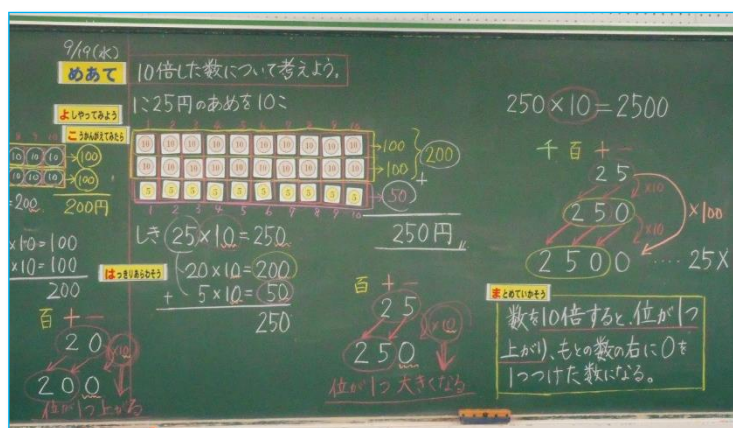


師走：第9話「よさをみつけ、よさをのばす」



12月21日。終業式において、この2学期に、子どもたちが努力したことや力をつけてきたことなどをふり返りました。まず、よこはま横浜学習についてです。

よ…よしやってみよう（課題発見）
こ…こう考えてみたら（自学習）
は…はっきり表そう（集団学習）
ま…まとめて生かそう（課題解決）

児童が自ら気づいたり、これまでの学習をもとに、自分の力で問題を解いたりする学

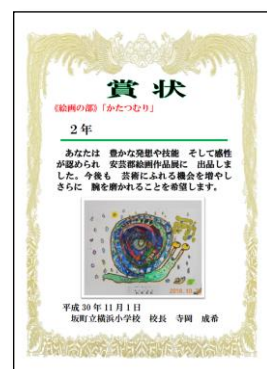
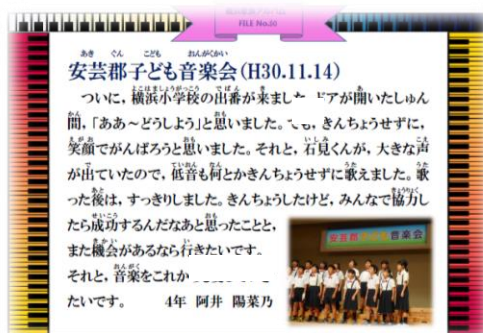
習を進めたりしています。そのためには、「質問します」「答えます」「付け加えます」「例えば」等々、友だちの意見と関連付けて、自分の考えを述べるように、指導しているところであり、少しずつ意見がつながり始めています。

2つ目は、場に応じたあいさつについてです。坂中学校の生徒が坂町の小中学校で目指すあいさつのやり方を紹介してくれたことを受け、本校でも指導を行っています。地域の方々や、あいさつ運動で正門に立っておられる方からも、「あいさつがよくなっている」「立ち止まってあいさつができています」というお言葉をいただいています。実際に様子を観察してみますと、地域の方も丁寧に挨拶をしていただいていることもあり、一人一人の方にお辞儀をして挨拶して通る子が増えたように思います。2学期現在、3分2の児童が立ち止まって挨拶ができるようになっています。3学期は、正門から200人、東門から60人をめざして、立ち止まって挨拶しようと呼びかけました。



3つ目は、よいところみつけについてです。2学期は、学習発表会、持久走大会に加え、5年生の宿泊体験学習、6年の修学旅行と、学校行事を通して、児童同士が関わる場面が多くありました。その中で、友だちのよさや自分のがんばりを素直な言葉で表現することに努めました。とかく人の悪いところはよく目に付きますが、よいところはじっと観察しないと分かりませんし、経験を積むことにより、よいところをみつける感性が磨かれていくものです。また、よさを見つけることにより、相手が喜ぶだけでなく、自分もほんわかした気持ちになります。逆に悪口を言われたら、いやな気持ちになるだけでなく、言った自分の心もますますいら立ってくるものです。3学期には、心が温かくなる言葉を増やし、相手が傷つく言葉を一掃して、寒い冬を乗り越えたいと思います。

来年も、子どもたち一人ひとりに寄り添い、よさを見つけ、よさを伸ばす教育を進めていこうと思います。



校長 寺岡 成希